

# 外国につながる人々をサポートする皆さん



## 津市巡回担当員とは

子どもたちが安心して学校生活を送るためには、保護者の理解と協力が欠かせません。日本語が分からない保護者への通訳や文書の翻訳、連絡調整を行っているのが、津市巡回担当員です。自らも言葉の壁にぶつかったり、文化や習慣の違いに戸惑ったりしたことがあります。だからこそ子どもや保護者の「分からない」「伝えられない」もどかしさが分かり、その気持ちに寄り添って活動することができます。



## 国際交流協会(津支部)「日本語教室」



毎週日曜日の18時から19時45分まで、中央公民館で日本語教室が開かれています。さまざまな国や地域の皆さん20人ほどが、日本語を学びに来ています。「日常会話ができるようになりたい」「日本語

能力検定に合格したい」「漢字を覚え新聞が読めるようになりたい」など、思いはさまざまですが、誰もが熱心に学習しています。

教えているのは、市民ボランティアの皆さん。一人一人が自分なりの方法で、学習者それぞれのニーズに合わせて丁寧に対応しています。休憩時間には、ほっと一息お茶を飲みながら、互いに交流を深め情報交換をしています。運営している松尾光照さんは、「外国の方は皆さん、熱心ですよ。私もいろいろ教えてもらって楽しいです。そして教える市民ボランティアの皆さんも生きがいを感じ、お互いにより影響を与えています。」と話し、通う人たちをいつも笑顔で迎えています。



## 広がる支援の輪～エスペランサの活動～

多文化共生ネットワーク「エスペランサ」は、津市・鈴鹿市を中心に生活の厳しい家庭(主に外国につながる子どもの家庭)への生活支援を行っている市民グループです。リーマンショック後に外国につながる子どもたちの保護者が次々と解雇され、生活が困窮する家庭が急増したため、それらの家庭を支援することを目的に平成21年3月に設立されました。食べ物や生活用品などの配布・情報提供・相談等の活動を行っています。現在までに、195家族、のべ340件の支援を行ってきました(平成30年1月10日現在)。

「外国につながる子どもの保護者が、差別的な扱いをされている実態がたくさんある。」と、代表の青木幸枝さんは語ります。「雇用対

策事業の会場で『外国人はいらぬ』と言われたり、会社から突然『明日から来なくていい』と電話で言われたりしている。弱い立場の人が被害を被っている。

人権を軽視する社会の構造を何とかしないと、子どもたちがつらい思いをする。」

連絡を受けると昼夜を問わずすぐに駆けつけるエスペランサの活動は、周り人々の心を動かし、共感した人たちから徐々に支援の輪を広げようとしています。



HP [エスペランサ 支援メールネットワーク](#)

検索

